

令和5年5月31日

## 坂本小だより No.3



〒852-8102  
長崎市坂本 3-3-1  
電話 844-0539  
長崎市立坂本小学校  
校長 本多孝臣

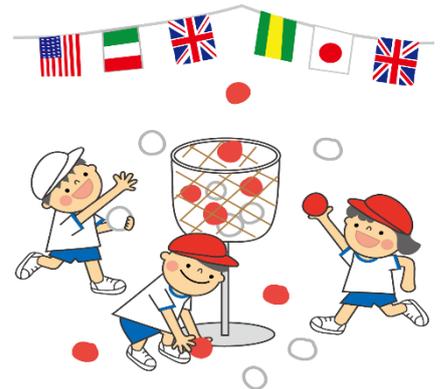
【学校目標】

笑顔の花を咲かせよう

# 運動会の応援 ありがとうございました

5月21日、澄み渡る青空のもと、運動会を実施することができました。熱い声援をかけてくださった皆様にお礼申し上げます。また、朝早くから、会場設営にご協力くださった保護者の方々に厚くお礼申し上げます。

かつては右の挿絵のような玉入れや綱引きなどが、運動会の主役であったような気がしますが、時代と共に、運動会の内容も変わってきます。短距離走とリレーは各学年の出場種目になって、子供たちの懸命な走りが印象的でした。今や運動会の花といえば、表現・ダンス。1・2年生の「ハロー!ハロー!」かわいかったですね。練習も見に行きましたが、めきめきと上達していくスピードも見事でした。3・4年生の「かがやけ!ぼくらの未来!」は、キレッキレのダンスで、表情もとてもよかったです。5・6年生の「ソーラン節」は、気持ちがかもっていました。教えに来ていた大学生も喜んでいました。後ろで踊っていた中学生も頑張っていました。どの学年も、練習をずっと見てきた中で一番気合が入った踊りを披露することができていました。子どもたちの頑張りを見ることができた運動会になって、とてもよかったです。



## さかもとっ子の心を見つめる教育週間

6月19日(月)～6月25日(日)までの1週間を設定しています。数年ぶりに制限のない教育週間を実施できるとあって、土曜授業や被爆体験講話、その他いろいろなことを計画中です。

さて、長崎県内全域で、このころになると「長崎っ子の心を見つめる教育週間」が行われます。「学校と保護者及び地域の住民が連携し、『地域の子供は地域で育む』という機運をさらに高め、『いのちを輝かせて生きる心豊かな長崎っ子の育成を目指す取り組み』です。

個の取組は、平成16年度から始まりました。今年で20回目を迎えます。この教育週間に取り組むきっかけは、当時子供のいのちにかかわるいくつかの事件があったからです。それらの事件は、そのどれもが「信じられない」ものでした。長崎の教育界には激震が走りました。若い保護者の方は、ご存じないかもしれません。ここでは、詳しいことは書きませんがぜひ調べてみてください。私たち教職員は、あの事件のことは決して忘れません。そして、この1週間は、いのちについて、子供たちと正面から向かい合っていきます。

